



東武鉄道 東武スカイツリーライン 50050型 説明書

●東武鉄道株式会社商品化許諾済

N-GAUGE

10-1597/10-1598

TOBU SKYTREE LINE 50050 TYPE

増結セットには先頭車・動力車は含まれておりません。
基本セットとあわせてご使用ください。

※ ケースは車両の保管用です。

△《ご注意》

- この商品は8歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- この商品をご使用の際には、鉄道模型専用の電源(パワーパック)をお使いください。
- この商品は精密模型ですので、ご使用の際にはお気を付けください。
- この説明書の「Nゲージ車両の取り扱いについて」もよくお読みください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

●KATOお客様サービス係 Tel.03-3954-2503

製品についてのお問い合わせはお買い求めの販売店へご相談ください。

■実車の紹介

東武鉄道は同社の通勤車両としては初のアルミ合金車体の50000型を平成16年(2004)に製造、翌年3月から東上線において運行を開始しました。日立製作所開発の次世代アルミ車両システム“A-train”を採用、ダブルスキン大型材の使用による車内の遮音性向上と車体軽量化による消費電力削減を図ったほか、各部のアルミ材質を統一しリサイクル性を向上させるなど、車両構造の大幅な見直しを行い環境負荷の低減が図られました。以後同社における通勤電車の標準仕様となっています。

50050型は平成18年(2006)に登場した地下鉄乗入れ対応の伊勢崎線用車両です。それ以前に製造された50000型をベースとしていますが、直通車両規格仕様に準じた車体寸法、先頭車に東武形ATSと東京メトロ・東急形ATCを集約したATC/S装置を搭載、前面に連番表示器が設置されています。製造時期の違いで編成により側窓の形状、屋根上の搭載機器にバラエティが見られることも50000系列共通で見られる特徴であるほか、近年では前照灯のLED化が行われています。50050型は東京メトロ半蔵門線、東急田園都市線への直通運転に充当され、伊勢崎線(押上〜喜喜間)・日光線(東武動物公園〜南栗橋間)のほか、3都県にまたがる広範囲の運用で活躍しています。

010-4970 LOT:4210901

KATO
EPOCH 株式会社 関水金属
Printed in Japan

